

静岡県言語・聴覚・発達障害教育研究会

会報 第554号

発行日 令和3年6月23日
担当 浜松市立追分小学校
ことばの教室
〒432-8012
浜松市中区布橋一丁目9番1号
電話 053-472-1281

歴史ある「ことばの教室」

浜松市立追分小学校 校長 村松一彦

「あなたは、ことばの学習に熱心に取り組み、楽しくお話をすることができるようになりました。これからの生活が、ことばによってより豊かになることを願っています。」

この文は、本校のことばの教室に通っていた児童の退級式の時に渡される賞状に書かれていて、校長が読み上げます。初めて入る校長室、初めて校長と正対して賞状を読み上げられるという状況に緊張しながら、どの子供も晴れやかな、そして充実感あふれる笑顔で賞状を受け取ります。幼児ことばの教室の退級式も、賞状に書かれた文言が違うものの、子供の様子は同じです。年に何回もあるのですが、私はこの瞬間が大好きです。

本校は、令和3年度に創立97年目を迎えた歴史のある学校です。かつては1学年5学級というマンモス校であった頃もありましたが、現在は全校児童203名、通常の学級7学級の比較的小さな学校です。

本校の特徴の一つに発達支援教育が挙げられます。知的障害発達支援学級4学級に加え、市内小学校に3校しかない肢体不自由発達支援学級が1学級あります。様々な場面で通常の学級と発達支援学級が交流する機会を設けており、子供たちの相互理解につなげています。

また、通級指導教室は言語のみで、ことばの教室と呼ばれています。児童ことばの教室は昭和54年に、幼児ことばの教室は昭和60年に設置されました。その後、どちらも増設され、現在は児童2教室、幼児3教室設置されており、年間約100名の子供たちが通って、エアコンの設置された快適な部屋で指導を受けています。

ことばの教室を担当する5名の教員は非常に研修熱心で、常に連携を図りながら、ベテラン教員の指導技術を学んだり、新たな指導法を模索したりしています。また、昼休みに紙芝居をしたり、多くの子供が通る掲示板に後述される掲示物を貼ったりするなど、ことばの教室に通う子供たちだけでなく、本校の子供たちにもよい影響を与えてくれていますし、ことばの教室を身近なものとしてくれています。

近年、本校では通常の学級の低学年でMIM（多層指導モデル）を取り入れてきました。今後は、浜松市の各通級指導教室（言語）で導入していくと聞いています。様々な手法を取り入れつつ、対面で指導者の発音や口形をまねるという基本的な指導も大切にしながら、子供たちの言語能力の育成を図っていきたいと思います。



子供に働きかける教室掲示特集

教室掲示は通級児だけでなく、所属校の児童にとっても言語感覚を刺激する大切な言語環境の一つです。今回は、追分小学校「ことばの教室」の掲示についてご紹介します。

＜ことばの掲示板＞

本校児童が多く通る1階廊下に掲示。「めくってみる」「暗号」「隠し文字」など、いろいろな仕掛けがあり、人気の掲示物になっています。

めざせ『ことばマスター』
ことばの世界を広めよう！

おもしろ回文コーナー
「私負けましたわ」「猫の子ね」

担当者の強い思いを伝えます。



早口言葉コーナー
リズムに乗ってはっきりと♪

魅惑のことわざコーナー
組み合わせクイズ付き

落語の小噺コーナー
高学年向き。

いろいろな仕掛け
暗号、めくり、隠し文字

ラップであいうえおコーナー
自作自演のことば歌。口形指導にも使えます。

通級児だけでなく、ここを通る多くの1～3年生が立ち止まって早口言葉を言ったり、ペアになって回文を楽しんだり、ことわざクイズに答えたりしています。

クイズって楽しい♪

3ヒントクイズ、あれこれと頭をひねって考えます。答えの紙をめくると…大正解！
子供たちの笑顔が光ります。親子で楽しむ姿も良く見られます。



魅惑のことわざクイズ♪

「ことわざ」は、ことばの世界を広げる絶好の教材です。短い例え話を通して昔の人々の知恵に触れることができます。ことわざを前半・後半に分け、ばらばらに掲示して正しいことわざを作るクイズの掲示を作りました。ふだんのことばの学習活動でも扱っているため、得意になって答えている姿がよく見られます。



楽しみながら指先を使って♪

幼児の言語指導では、いろいろな活動や教材を通して、楽しみながら言葉を覚えたり、正しい発音を練習したりしています。そうした指導の中で、短い時間でのちょっとした創作活動（描画や工作）を通して、楽しみながら指先の運動をしたり、活動を通して担当者や保護者との自然な会話を楽しんだりできるように工夫し、掲示に生かしています。

<6月 あじさい作りとかたつむりの絵かき歌>



折り紙をちぎって、のりで貼り、あじさいをつくりました。切る・ちぎる・付ける・貼る…といった指先を使った活動を楽しみました。

あじさいやかたつむりなど、季節の生き物を題材にして生活の中での興味・関心を広げています。「幼稚園に青いあじさいがあった。」「小さい木にかたつむりを見つけた。」などと教えてくれる子もいました。

<かたつむりの絵かき歌>

かたつむりの絵かき歌と一緒に歌い、かたつむりを描きました。好きな色でぬり、その子なりにイメージを膨らませ、周りに好きなものを描きました。



「同じものを描いたのに、みんなちがってどれもいいね。」とながめて楽しみました。

子供の興味・関心を高める工夫を♪

最も影響力のある言語環境は、身近にいる保護者や担当者、学級担任の子供への働きかけの言葉です。その上で、こうした環境整備を進めていくことが大切だと思えます。日頃の指導・支援はもちろんですが、子供たちの好奇心、興味・関心を高め、その子供の存在が感じられるような教室掲示に努めていきたいと思えます。